



オーブンガーデンが広げる 活動の輪

大槻 和子さん(埼玉・68歳)



花などの植物で彩られた自宅の庭を期間限定で一般公開するオーブンガーデン。色とりどりの花々であふれた庭で、訪れる人たちの目を惹きつけている大槻和子さんを紹介します。

神奈川県に住んでいた大槻さんは、以前から花や植木などの植物に興味がありましたがマンション住まいで庭がなかったため、オーブンガーデンに憧れていたそうです。そうした中、11年前に夫の転勤により現在の埼玉地内に住居を構え、自宅の庭で念願のオーブンガーデンをスタート。現在、バラやクリスマスローズ、リンドなど約100種類の植物が植えられており、季節によっていろいろな表情を見せる庭の変化を感じながら手入れをするのが、日々の楽しみになっています。

「限られたスペースですが、植物が伸び伸び育つ庭を目指し、それぞれの植物に合った場所に植えていくようにしています」と優しい笑顔で話してくれました。

また、大槻さんは、平成27年度には行田市民大学に入学し、福祉・健康についてのグループ

研究を行い、地域や人とつながり生きがいを持つていつまでも元気に楽しく過ごすことが健康寿命を延ばすことになる、ということを知りました。そして学んだことを地域で生かそうと、卒業した平成29年、同大学7期生の同窓生5人でボランティアグループ「四季の風」を結成し、メンバーとともに昨年からは本格的にオーブンガーデンを始めました。大槻さんのオーブンガーデンでは、手芸が得意な方々が作った小物入れやバッグなどの作品を展示・販売するスペースを設けています。「四季の風のメンバー以外の方にも協力してもらい、前回は10人が参加しました。販売コーナーのあるオーブンガーデンはあまり例がないので、来た方に作品を選んで購入してもらおうと、作り手の生きがいにもつなげることができているのではないのでしょうか」と話します。

「昨年は約170人が来場し、「居心地の良い庭」「いろいろな植物があるので見応えがある」などと好評で、中には「友人にも見せたいから」と何度も足を運んだ人もいます。」

「市内でオーブンガーデンの取り組みが広がったうれしいですね。そして一人でも多くの方に関わっていただき、参加型のイベントへと成長していけたらいいですね」と意欲を見せます。オーブンガーデンを通してつながる大槻さんの活動の輪は、ますます広がっていくことでしょう。

「市内でオーブンガーデンの取り組みが広がったうれしいですね。そして一人でも多くの方に関わっていただき、参加型のイベントへと成長していけたらいいですね」と意欲を見せます。オーブンガーデンを通してつながる大槻さんの活動の輪は、ますます広がっていくことでしょう。

▼期間 5月18日(金)～26日(土)午前10時～午後4時
▼場所 埼玉3717-112

私の作品

- 俳句
- 荒木 手島 一海
 - 円墳の一刻千金桜満つ
 - 南河原 今村 文女
 - 春愁や鬼籍の夫に電話来る
 - 富士見町 おおば水杜
 - 雪彼岸日本にいくつ兜太句碑
 - 忍 大澤 由子
 - ゆるやかに川傾きぬ花筏
 - 富士見町 鈴木スイ子
 - 茶事所作の未完のままや花は葉に
 - 城南 橋本千枝子
 - 路地裏に残る昭和や暮遅し
 - 荒木 藤田 栄之
 - まだ知らぬ世間の風や雀の子
 - 柵田町 春田 枕流
 - 城壁の陰のなかなる花香
 - 長野 吉田 正子
 - 咲き満ちし桜の下に或る暗さ
 - 城西 榊原しずか
 - 言いようの無い不安あり花万葉
- 雲映す沼の浅瀬に蝌蚪の群
- 荒木 藤田 明枝
 - 矢場 高田みつ子
 - 啓蟄や地下街に買ふ宝くじ
 - 斉条 小林 英与
 - イベントを待てずお先に散る桜
 - 荒木 森田 静
 - 菜の花の中を一両電車ゆく
 - 佐間 須永 節子
 - 惜春や待合室の小座布団
 - 矢場 鈴木かつの
 - 一輪車オカッパ頭に春の風
 - 榊上 吉澤とし子
 - 退院にあふるる春のひかりかな
 - 中里 鯨 美智子
 - バラの花湯槽に浮かべ悦に入る
 - 渡柳 川田 静江
 - 花冷えや元気に跳ねるランドセル
 - 谷郷 間瀬ひろ子
 - 咲き揃ふ友の命日白木蓮
- (三沢 一水 監修)

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

はじめまして



★★★ 平成29年 5月生まれのおともだち ★★★

平成29年7月生まれのお子さんを募集します

○5月1日(火)～31日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線322)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、6月1日(金)午前11時30分
から市役所203会議室で公開抽選を行います。



福田 結弦ちゃん(佐間)
平成29年5月31日生まれ
父・恭兵さん 母・亜友美さん
「大きく羽ばたいてね♡」



斉藤 颯希ちゃん(斎条)
平成29年5月2日生まれ
父・順也さん 母・千佳さん
「元氣いっぱい、
健康やかに育ってね♡」



木村 優心ちゃん(若小玉)
平成29年5月6日生まれ
父・浩也さん 母・美美さん
「優しく子に育ってね」



瀬古 伊織ちゃん(下中条)
平成29年5月25日生まれ
父・祥史さん 母・知未さん
「のびのびと大きくなつてね」



山崎 葵以ちゃん(持田)
平成29年5月4日生まれ
父・裕輔さん 母・友美さん
「いやしをありがとう♡」



川田 浩輝ちゃん(埼玉)
平成29年5月15日生まれ
父・浩さん 母・由香利さん
「すくすく元氣に育ってね!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

サーパス工業株式会社

世界に誇るフッ素樹脂製品の開発・製造で半導体業界を支える



会社プロフィール

代表取締役社長 今井 高志

【事業内容】半導体、理化学、医療機器
の設計から製造・販売
【所在地】下忍2203

フッ素樹脂を用い、耐薬品性に優れた高品質なバルブやセンサーなどの開発、販売を行っているのが今月紹介するサーパス工業株式会社です。

社名の「SARPAS」は「超越する」という意味で、不可能と思われる課題にも挑み続けていく会社の姿勢を表しています。

昭和57年の創業当時は、理化学商品および医療用合成反応装置の開発、設計のみでしたが、顧客の細かな要望にも応えるため、自ら製造まで行うようになりまし。そして、パソコンや携帯電話などの普及に伴い、成長が著しい半導体業界へ進出。半導体製造に必要不可欠である高度な耐薬品性を持つフッ素樹脂製のバルブやコネクタなどの流体配管部品の開発に携わるようになりまし。今では3千種類を超える商品を製造し、世界シェアの90パーセントを占める製品も誕生しました。

代表取締役社長の今井高志さんは「当社の強みはお客様のニーズを的確に捉え、既存の市場にまだ存在していない付加価値の高い製品を提供できること

です」と自信に満ちた様子で話してくれました。顧客のニーズに添えていくなかで生み出された開発成果は、100件以上の特許として国内外において認められ、これらの特許を有効に活用しているとして平成26年には経済産業省の「知財功労賞」を受賞。さらに翌年の平成27年にはこれまでにないわずかな流量域の計測を可能にしたフッ素樹脂製の「微小流量計」で「第27回中小企業優秀新技術・新製品賞」優良賞も受賞しています。

半導体業界を支えてきた同社は今さらなる飛躍に向け動き出しています。それは創業のきっかけとなった理化学や医療関係で注目を浴びているパイオ技術や再生医療の分野への挑戦です。「サーパス工業は100年企業を目指し、お客様と従業員が一緒になって世の中に無いものを作り続けていきます」と今井社長は改めて決意を語ります。サーパス工業は常に時代の先端を走り続け、その躍進に大きな期待が寄せられています。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。